

半田市 蔵出し情報 報道機関提供資料

問い合わせ	新美南吉記念館 館長榊原一人 担当遠山光嗣 26-4888
-------	--

平成31年4月2日提供 (事前情報・事後情報)

名称	『新美南吉記念館研究紀要』第25号 発行 ～南吉童話の初出誌発見& 中学時代の友人による手記公開～
発行日	3月28日(木)
発行者	新美南吉記念館
趣旨 (目的)	新美南吉記念館では、南吉に関する新資料情報や最新の研究成果を研究紀要にまとめ、年度末に発行しています。平成30年度の研究紀要(第25号)では、これまで知られていなかった新資料2件を紹介しています。
内容	<ul style="list-style-type: none">●南吉童話の初出誌を発見<ul style="list-style-type: none">・南吉が学生時代に幼年童話を寄稿していた雑誌『カシコイ一年小学生』『カシコイ二年小学生』のうち、これまで当館では確認していなかった号が9冊見つかったので、その内容を紹介します。・そのうちの一冊に、初出誌が未発見だった南吉の幼年童話「ウラレテ イツタ クツ」が掲載されていることがわかりました。●南吉の友人による手記と楽譜を公開<ul style="list-style-type: none">・亀崎出身で旧制半田中学校の同級生だった故稲生稔彦さんが南吉について書いた手記と南吉作品に作曲した楽譜を初めて収録しました。・稲生稔彦さん(大正2～昭和60)は心理学や音楽に造詣が深く、南吉の日記には「好きな分野の話が存分に出来る相手と書かれた人です。・手記には、南吉と互いの創作を批評し合ったこと、南吉がリンゴ好きだったこと、さらには東京での南吉の女性関係についてまで、さまざまなことが書かれています。・若い頃は音楽家志望だった稲生さんが南吉の童謡や詩に作曲した歌曲5曲の自筆楽譜を収録しています。
備考	研究紀要は、各地の公立図書館・大学図書館・文学館などに配布するほか、記念館で販売もしています。(800円・通信販売もします)
担当者 情熱メッセージ	死後76年が経っている新美南吉ですが、こうしてまだ新たな発見もあります。今後も、そうした面白さや新たな南吉像を発信していきます。
写真	南吉童話の掲載誌の画像を提供できます。

半田市企画課広報情報担当
0569-84-0603

